

## 農業者アンケート【最終版】

回答受付期間：令和5年4月10日(月)～令和5年5月31日(水)

回答方法：郵送又はLogoフォーム

対象者：128人(販売農家・記名式)

回答数：79人

回答率：61.72%

### 問1 年齢をご記入ください。

	項目	(人)	(%)
1	20代	0	0.0
2	30代	4	5.1
3	40代	8	10.1
4	50代	10	12.7
5	60代	20	25.3
6	70代	29	36.7
7	80代	7	8.9
8	90代	1	1.3
	計	79	100.0

平均年齢 66 歳

### 問2 農業に従事している合計人数をご記入ください。

	項目	(人)	(%)
1	1人	14	17.7
2	2人	24	30.4
3	3人	13	16.5
4	4人	8	10.1
5	5人	9	11.4
6	6人	4	5.1
7	7人	4	5.1
8	8人	1	1.3
9	9人	0	0.0
10	10人	1	1.3
11	11人以上	1	1.3
	計	79	100.0

### 問3 雇用している人数をご記入ください。

	項目	(人)	(%)
1	1人	11	13.9
2	2人	6	7.6
3	3人	0	0.0
4	4人	1	1.3
5	5人	1	1.3
6	6人	0	0.0
	計	19	24.1

### 問4 援農ボランティアの人数をご記入ください。

	項目	(人)	(%)
1	1人	11	13.9
2	2人	6	7.6
3	3人	9	11.4
4	4人	2	2.5
5	5人	2	2.5
6	6人以上	1	1.3
	計	31	39.2

問5 その他お手伝いの人数をご記入ください。(近所の方 等)

	項目	(人)	(%)
1	1人	11	13.9
2	2人	9	11.4
3	3人	0	0.0
4	4人	0	0.0
5	5人	2	2.5
6	6人以上	1	1.3
	計	23	29.1

問6 第3次日野市農業振興計画が策定された平成26年(2014)年と比較して、所得はどのように変化しましたか。あてはまるものをお選びください。

	項目	(人)	(%)
1	増加した	13	16.5
2	減少した	17	21.5
3	変わらない	39	49.4
4	わからない	8	10.1
5	その他	2	2.5
	計	79	100.0

問7 現在の生産品目をお選びください。※複数選択可

	項目	(人)	(%)
1	野菜(施設栽培)	39	49.4
2	野菜(露地栽培)	67	84.8
3	果樹	37	46.8
4	養鶏	1	1.3
5	酪農	0	0.0
6	花き・花木	3	3.8
7	稲・麦	10	12.7
8	その他	2	2.5

問8 現在の出荷先をお選びください。(回答基準日:令和5年4月1日)※複数選択可

	項目	(人)	(%)
1	みなみの恵み	47	59.5
2	グリーンライフ七生	14	17.7
3	マルシェひらやま	13	16.5
4	七ツ塚ファーマーズセンター	12	15.2
5	庭先販売	48	60.8
6	学校給食	24	30.4
7	市内小売店	7	8.9
8	市外小売店	8	10.1
9	市内飲食店	4	5.1
10	市外飲食店	3	3.8
11	定期開催イベント	8	10.1
12	臨時開催イベント	3	3.8
13	その他	17	21.5

問9 現在の経営状況について最も近いものをお選びください。

	項目	(人)	(%)
1	繁盛している	2	2.5
2	やや繁盛している	18	22.8
3	変わらない	41	51.9
4	やや衰退している	12	15.2
5	衰退している	6	7.6
	計	79	100.0

問10 現在経営の中で取り組んでいることをお選びください。※複数回答可

	項目	(人)	(%)
1	作付面積の拡大	8	10.1
2	品種改良	16	20.3
3	広告・宣伝	7	8.9
4	栽培種目の多様化	29	36.7
5	施設整備	22	27.8
6	販路拡大	11	13.9
7	新たな技術の習得	27	34.2
8	認定農業者制度の利用	11	13.9
9	農産物のブランド化	8	10.1
10	スマート農業の取り組み	2	2.5
11	その他	17	21.5

問11 今後の農業経営の方向性について最も近いものをお選びください。

	項目	(人)	(%)
1	拡大したい	11	13.9
2	現状を維持したい	56	70.9
3	経営を縮小したい	12	15.2
	計	79	100.0

問12 今後、取り組みたい経営をお選びください。※複数回答可

	項目	(人)	(%)
1	作付面積の拡大	8	10.1
2	品種改良	20	25.3
3	広告・宣伝	6	7.6
4	栽培種目の多様化	24	30.4
5	施設整備	23	29.1
6	販路拡大	12	15.2
7	新たな技術の習得	25	31.6
8	認定農業者制度の利用	8	10.1
9	農産物のブランド化	13	16.5
10	スマート農業の取り組み	3	3.8
11	その他	18	22.8

問13 補助金を利用した施設整備や機械購入の予定はありますか。※複数回答可

	項目	(人)	(%)
1	パイプハウス	16	20.3
2	防鳥ネット	6	7.6
3	農業用機械	27	34.2
4	灌水施設	0	0.0
5	ヒートポンプ	5	6.3
6	予定はない	37	46.8
7	その他	3	3.8

問14 生産した農産物を加工することで付加価値を高め、流通・販売する「6次産業化」について取り組んでいますか。

項目	(人)	(%)
1 すでに取り組んでいる	14	17.7
2 今後取り組みたい	12	15.2
3 取り組む予定はない	53	67.1
計	79	100.0

問15 経営努力でどうにもならない部分はどのようなものですか。※複数回答可

項目	(人)	(%)
1 後継者がいない	25	31.6
2 人員不足	10	12.7
3 販売価格	20	25.3
4 天候不順	61	77.2
5 資金不足	3	3.8
6 その他	6	7.6

問16 繁忙期における人員確保の方法をお選びください。

項目	(人)	(%)
1 アルバイトを雇用	4	5.1
2 家族を動員	32	40.5
3 援農ボランティアの受け入れ	13	16.5
4 人員は必要がない	20	25.3
5 人員は必要だが確保できていない	9	11.4
6 その他	1	1.3
計	79	100.0

問17 後継者はいますか。

項目	(人)	(%)
1 いる(5年以内に就農予定)	9	11.4
2 いる(10年以内に就農予定)	0	0.0
3 いる(就農時期は未定だが就農意志あり)	17	21.5
4 いない	53	67.1
計	79	100.0

問18 援農ボランティアの受け入れ状況についてお選びください。

項目	(人)	(%)
1 日野市の援農ボランティア	27	34.2
2 東京都の広域援農ボランティア	1	1.3
3 その他のボランティア	1	1.3
4 現在は受け入れていないが、今後受け入れを考えている	10	12.7
5 以前は受け入れていたが現在は受け入れていない	5	6.3
6 これまで受け入れたことがなく、今後も受け入れ予定はない	23	29.1
7 わからない	8	10.1
8 無回答	4	5.1
計	79	100.0

問19 (問18で1・2・4を選んだ方)援農ボランティアに希望することをお選びください。※複数回答可

項目	(人)	(%)
1 年間を通した派遣	13	16.5
2 繁忙期や希望日のみの派遣	21	26.6
3 草刈りなどの簡単な仕事をしてほしい	9	11.4
4 経験があればなんでもやってほしい	15	19.0
5 その他	1	1.3

問20 (問18で5・6を選んだ方)援農ボランティアを受け入れない理由をお選びください。※複数回答可

項目	(人)	(%)
1 希望日に来てくれない	2	2.5
2 指示に従ってくれない	2	2.5
3 利用の仕方が分からない	3	3.8
4 ボランティア対応で仕事が増えてしまう	14	17.7
5 他人が畑に入ることに抵抗がある	7	8.9
6 その他	12	15.2

問21 農業体験農園についてあてはまるものをお選びください。

項目	(人)	(%)
1 すでに開設している	3	3.8
2 現時点では開設していないが、今後開設してもよい	6	7.6
3 興味があるので詳しい話を聞きたい	4	5.1
4 開設するつもりはない	53	67.1
5 わからない	13	16.5
計	79	100.0

問22 生産緑地(特定生産緑地を含む)以外の農地を所有していますか。

項目	(人)	(%)
1 所有している	39	49.4
2 所有していない	40	50.6
計	79	100.0

問23 (問22で1を選んだ方)今後、生産緑地の指定を受ける予定はありますか。

項目	(人)	(%)
1 生産緑地の指定を受ける予定	5	6.3
2 生産緑地の指定を受ける予定はなく、農業を継続する	24	30.4
3 生産緑地の指定を受ける予定はなく、土地の有効活用をする	5	6.3
4 検討中	5	6.3
計	39	49.4

問24 特定生産緑地制度を利用していますか。

項目	(人)	(%)
1 特定生産緑地制度を利用している	59	74.7
2 今後特定生産緑地に移行する予定	3	3.8
3 買取り申出をし、土地の有効活用を行う予定	0	0.0
4 指定を受けずにいつでも買取申し出ができる土地として維持	2	2.5
5 まだ決めていない	4	5.1
6 わからない	9	11.4
7 農地を所有していない	2	2.5
計	79	100.0

問25 平成30年(2018年)に都市農地貸借円滑化法が施行され、生産緑地の貸借が可能になってから約5年が経過しました。農地(生産緑地に限らず)の貸借についてあてはまるものをお選びください。

	項目	(人)	(%)
1	現在貸している	3	3.8
2	所有する農地を貸したい	0	0.0
3	現在借りている	9	11.4
4	農地を借りたい	1	1.3
5	現在貸借は考えていない	56	70.9
6	わからない	9	11.4
7	その他	1	1.3
	計	79	100.0

問26 (問25で1・2を選んだ方)貸す理由をお選びください。※複数回答可

	項目	(人)	(%)
1	家から遠いから	0	0.0
2	土地面積が大きく、一人では耕作しきれないから	1	1.3
3	農作業をするのが難しいから(病気、怪我など)	1	1.3
4	その他	1	1.3

問27 (問25で2を選んだ方)貸したい時期をお選びください。

	項目	(人)	(%)
1	今すぐ貸したい	0	0.0
2	5年以内に貸したい	0	0.0
3	将来的に(5年以上先)に貸したい	0	0.0
4	時期は決まっていない	0	0.0
	計	0	0.0

問28 (問25で3・4を選んだ方)借りる理由をお選びください。※複数回答可

	項目	(人)	(%)
1	規模を拡大したいから	7	8.9
2	相続で農地が減ったから	1	1.3
3	所有農地の環境が良くないから	1	1.3
4	その他	3	3.8

問29 (問25で4を選んだ方)借りたい時期をお選びください。

	項目	(人)	(%)
1	今すぐ借りたい	0	0.0
2	5年以内に借りたい	0	0.0
3	将来的に(5年以上先)に借りたい	0	0.0
4	時期は決まっていない	1	1.3
	計	1	1.3

問30 現在所有する農地面積と10年後に所有する農地面積を比較した際、どうなるかお選びください。

※大体の予想

	項目	(人)	(%)
1	～10a増加する	1	1.3
2	～10a減少する	18	22.8
3	10～20a減少する	14	17.7
4	20～30a減少する	2	2.5
5	30a～減少する	3	3.8
6	減少する見込みはない	36	45.6
7	所有する農地はない	5	6.3
	計	79	100.0

問31 防災協力農地についてあてはまるものをお選びください。

項目	(人)	(%)
1 すでに協定を締結している	7	8.9
2 現時点では締結していないが、今後協定を締結しても良い	17	21.5
3 興味があるので詳しい話を聞きたい	5	6.3
4 協定を締結したくない	9	11.4
5 わからない	41	51.9
計	79	100.0

問32 現在、自宅の敷地内や畑に井戸を所有していますか。

項目	(人)	(%)
1 所有している(自宅の敷地内)	29	36.7
2 所有している(畑)	21	26.6
3 所有していない	29	36.7
計	79	100.0

問33 (問32で1・2を選んだ方)災害時協力井戸に登録すると、年に1回無料の水質検査を受けることが出来ます。災害時協力井戸についてあてはまるものをお選びください。

項目	(人)	(%)
1 すでに登録している	16	20.3
2 現時点では登録していないが、今後登録したい	11	13.9
3 興味があるので詳しい話を聞きたい	7	8.9
4 登録したくない	7	8.9
5 わからない	9	11.4
計	50	63.3

問34 (問32で3を選んだ方)東京都の補助事業で井戸の整備を行うことが出来ます。あてはまるものをお選びください。※整備を希望しても、個々の事情によりご希望に添いかねる場合があります。

項目	(人)	(%)
1 井戸の整備をしたい(自宅の敷地内)	2	2.5
2 井戸の整備をしたい(畑)	7	8.9
3 興味があるので詳しい話を聞きたい	2	2.5
4 整備は必要ない	18	22.8
計	29	36.7

問35 農薬を減らすまたは農薬を使用しない取り組みをしていますか。

項目	(人)	(%)
1 すでに取り組んでいる(減農薬)	48	60.8
2 すでに取り組んでいる(無農薬)	7	8.9
3 今後する予定(5年以内)	1	1.3
4 将来的にしたい(5年以上先)	11	13.9
5 取り組む予定はない	12	15.2
計	79	100.0

問36 化学肥料から有機肥料への切り替えをしていますか。

項目	(人)	(%)
1 全ての肥料を有機肥料にした	5	6.3
2 一部の肥料を有機肥料にした	57	72.2
3 今後、有機肥料の導入を予定している	5	6.3
4 有機肥料の導入は考えていない	12	15.2
計	79	100.0

問37 エコ農産物認証制度に登録されていますか。

	項目	(人)	(%)
1	登録済み	19	24.1
2	未登録だが今後登録予定	6	7.6
3	登録する予定はない	54	68.4
	計	79	100.0

問38 東京都GAP認証制度に登録されていますか。

	項目	(人)	(%)
1	登録済み	1	1.3
2	未登録だが今後登録予定	8	10.1
3	登録する予定はない	70	88.6
	計	79	100.0

問39 農林水産省は、厚生労働省と連携して「農業における課題」「福祉における課題」、双方の課題解決と利益(メリット)がある取組みである「農福連携」を推進していますが、この取組みについて、積極的に取り組むお考えはありますか。

	項目	(人)	(%)
1	すでに取り組んでいる	2	2.5
2	今後取り組む予定	1	1.3
3	取り組む予定はない	36	45.6
4	わからない	40	50.6
	計	79	100.0

問41 日野市で農業経営をして良かったことがあればご記入ください。

消費者の方がたくさん近くにいてくださり、「おいしい」などの感想がいただけること。
農業基本条例の制定により、市民の意識・農業者の意識を変えてくれたこと。
市の支援が厚い。市民の方が農に興味、好意がある。直売所など、参入しやすい販売路が複数ある。
消費者が近くに居るので、直売(地方発送含む)のみでも経営が成り立つ。
地下水が豊富で、井戸を掘って農業利用している。また、災害時協力井戸として補助金を活用できた。
支援制度が充実している。農地情報等が入手し易い
都会に比べて緑が多く、自然環境が充実しているので住民の農業に対する理解度が深く感じる。
近隣の小学校から毎年数名が校外学習に来て、野菜の収穫体験等で子供たちの笑顔が見れること。
庭先販売して地域の人たちに喜んでもらっている。
補助金制度等、農業に対する理解があり助かっている
都市農業は小規模農家が生き残れる可能性がある。
学校給食という販路ライバルが少ないという点
農業に対する支援が他に比べて厚い直売しやすい学校給食への取組に積極的
自分が栽培した野菜を地域の皆様に提供・販売することで多くの人に評価される機会を得たこと。
農業を通じていろいろな方と知り合うことができた。会社員時代に比較し、付き合う範囲が広がったこと。
援農ボランティア制度が充実している。JAの直売所がある。

問42 日野市で農業経営をしていて不満に思うこと、不安なことがあればご記入ください。

日野市に限ってではなく都市農業での新築による苦情。
農地の周囲も住宅がたくさんでき、農業をやりにくい環境になっています。ゴミを投げ込まれること もあります。市民の方にも農地(水田)が近くにある有効性を知ってほしいです。
経営に対してのモチベーションの差があること将来的にやる気のある経営者がいなくなるかもしれない
農地の確保が難しい。作業場などの環境の整備が難しい。
借地農地の宿命ですが、やはり相続の発生による借地減少が大きな不安要素。
住宅に囲まれた畑が多く、農業機械等の使用には非常に気を遣う。
周辺の農地が減っていくのを見ていると農地を維持するモチベーションの維持が難しい。
今後農業人口の減少にともない予算や施策がどうなっていくか不安
相続時に手持ちの土地を処分しなければならず、結果として農業経営を拡大することが困難。
区画整理のため畑の四方がコンクリートと住宅に囲まれ通風・日照不足などで作物が作りづらい



問43 日野市に対する要望があればご記入ください。

補助を充実させてほしい(いろいろな場面での)販売・作業・即売などで
イベントや体験など、生産以外の活動に対する支援。共同で使える作業場や農機など。
今後も農業経営を続けていくにあたり、ご支援の程、よろしく申し上げます。
借入可能な農地の紹介をお願いしたい。
土壌消毒、土壌改良に係る費用の何%か市からの補助金を望む。
安心して農業ができるような環境づくりをお願いします。(経営、栽培、後継者、相続 等)
認定農業者以外で補助をしてほしい。
新規就農者の受け入れを積極的に進めて欲しい。
市では難しいかもしれないが、カラスやハクビシン、アライグマなどの捕獲を進めてほしい
援農ボランティア制度をもっと充実させてほしい。
市の職員に農家訪問をもっとしてほしい。